

平成 26 年度第 1 回土木計画学研究委員会 議事録

平成 26 年 6 月 7 日(土)12:15～13:15

場所 東北工業大学

議事録担当幹事：福田，藤見

出席者（かっこ内は所属. 「大学」は省略）

谷口（委員長，京都），福田（副委員長，日本），秋山（副委員長，関西），屋井（東京工業），柴崎（OCDI [家田（東大）代理]），石田（筑波），竹林（神戸），山中（徳島），藤原（広島），張（広島），山田（茨城），小林（京都），奥村（東北），宇野（京都），高野（北海道），多々納（幹事長，京都），古市（JICA），岡本（阪神高速）小野（京都），小路（広島高速），塚田（土研），久保田（埼玉），桑原（東北）

（以下幹事兼任委員）金子（日本），嶋本（宮崎），平田（茨城），有村（室蘭工業），井料（神戸），福田（東京工業），福本（東北），藤見（熊本），轟（日本），菊池（東北工業），谷本（鳥取），倉内（愛媛）

配付資料

資料 1 平成 25 年度第 2 回土木計画学研究委員会 議事録（案）

資料 2 研究小委員会報告

資料 2-1 土木計画学ハンドブック出版事業運営小委員会設立趣意書

資料 2-2 「持続可能かつ住みやすい都市を創るスマートロジスティクスに関する研究小委員会」設置企画書（案）

資料 2-3 「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会」設置申請書

資料 2-4 「航空交通データ活用研究会」の設置申請

資料 3 土木計画学研究委員会 50 周年記念事業について（案）

資料 4-1 行事等に関する土木学会名義の仕様許可申請に関わる理由書

資料 4-2 EASTS 20 周年記念事業 国際シンポジウム「アジアの交通の未来」開催計画書

資料 5 第 49 回土木計画学研究発表会（春大会 2014）について

資料 6 学術小委員会報告

資料 7 小委員会活動状況報告資料

資料 8-①-1 25 年度 JSCE2010 自己評価票

資料 8-①-2 【調査研究部門】4 視点評価様式

資料 8-④ ホームページ（修正と英語化・CMS 化）

資料 8-⑤ 国際セミナー活動報告

資料 8-⑥ 国際センター対応 報告

資料 8-⑧ 全国大会研究討論会

1. 委員長挨拶（谷口）

谷口委員長より挨拶があった。

2. 新委員長・新副委員長について（多々納）

新委員長として桑原雅夫氏（東北大学）、新副委員長として久保田尚氏（埼玉大）が就任されることが報告された。

3. 研究小委員会の設置について（多々納）〔資料-2〕

「土木計画学ハンドブック出版事業運営小委員会（資料 2-1）」、「持続可能かつ住みやすい都市を創るスマートロジスティクスに関する研究小委員会（資料 2-2）」、「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会（資料 2-3）」の3つ研究小委員会、「航空交通データ活用研究会（資料 2-4）」の1つのワークショップについて新しく設置することが承認された。

4. 土木計画学研究委員会 50 周年記念事業について（多々納）〔資料-3〕

2016年9月に設立50周年を迎えるため、①50周年記念セミナーシリーズの開催、②土木計画学ハンドブックの出版、③土木計画学研究発表会でのスペシャルセッションの開催、の3つの行事を行うことが承認された。

①50周年記念セミナーシリーズ

まず、交通分野について ISTTTT、INSTR の後に北海道で実施されるセミナーを50周年記念セミナーとして位置づけることが承認された。他の分野について、50周年記念セミナーとして位置づけられそうなものがあれば多々納幹事長に連絡するよう依頼があった。

（幹事長）50周年記念セミナーシリーズとして位置付けられるものについては、後援のPPT等を計画学Webに掲載することを念頭に考えており、そのような条件が満たされるならばワンデーセミナーも記念シリーズに含めて良いと思われる。

②土木計画学ハンドブック

土木計画学ハンドブックの出版が企画された経緯について説明があった。

③土木計画学研究発表会でのスペシャルセッション

6月7日（土）10:45～12:15にキックオフのスペシャルセッションが開催されたとの報告があった。今後シリーズとして開催していき、最終的には2016年の秋大会でこれまでの50周年記念行事の成果をとりまとめるかたちで記念シンポジウムを開催することが承認された。

発表資料をHPに掲載するよう担当幹事に依頼があった。

予算については100万円程度を使える可能性があるので検討する。次回の委員会で予算

案を提示する予定である。50周年記念のロゴを作成することを今後検討する。

5. EASTS からの土木学会後援の依頼について（多々納）[資料-4]

EAST20 周年記念事業国際シンポジウム「アジアの交通の未来」について、土木学会の後援を承認した。

6. 春大会の実施状況について（轟）[資料-5]

企画論文テーマの応募数は 52 であったが統廃合して 44 テーマとしたこと、論文発表申込数は 413 であったが 22 不採択となり最終的に 391 本となったとの報告があった。例年より不採択が多いのは、希望が特定のテーマに集中したのが理由と考えられ、今後の対応を検討する。スペシャルセッション数は 6 であり、公共デザインコンペの出品数は 15 であると報告された。6月7日正午時点で参加者の受付件数は 585 名であり、最終的には 1000 名程度になりそうである。今回の春大会での新たな試みとして、①電気通信学会併催セッション、②一時保育サービスの提供、③ノーショーの確認が行われた。

次年度の春大会は、2015年6月上旬（日程はまだ未確定）に九州大学で行われることに決まったことが紹介された。

7. 学術小委員会報告および秋大会の準備状況について（屋井、谷本）

2014年秋大会は11月1日（土）～3日（月・祝）に鳥取大学で行うことが報告された。飛行機のフライトの時刻が限られていること、ホテル客室容量が少ないことにより、早めの予約の必要性が説明された。また、近隣温泉等への宿泊が推奨された。宿泊施設からの相乗りバスなどの提供については今後検討する。

2015年秋大会は11月21日（土）～23日（月・祝日）[仮]の予定で秋田大学にて開催することに決まったことが紹介された。

特集号 Vol. 31 の査読状況が資料 6 に基づいて説明された。

8. 研究小委員会からの報告

「航空輸送に関する高度なモデル化ならびに統計分析に関する技術検討小委員会（委員長：竹林幹夫）」、「超高齢社会を支える効率的かつ信頼性の高いロジスティクスシステムに関する研究小委員会（委員長：谷口栄一）」については、平成 26 年 5 月に活動が終了したとの報告があった。また、「インフラ PFI/PPP 研究小委員会（委員長：宮本和明）」については、平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月まで活動が延長されると報告された。

今後、各小委員会の活動の概略もしくは詳細の情報を計画学委員会 Web に掲載することを検討したい（幹事長）。

9. 幹事会からの報告

- 1) 活動評価・中期目標対応担当幹事より JSCE2010活動報告を提出したとの報告があった。
[資料 8-①-1、8-①-2]
- 2) HP 担当幹事からホームページの英語化、CMS 化の進捗状況が報告された。[資料 8-④]
- 3) HP 担当幹事は研究小委員会の活動を整理した資料 7 の情報を HP にアップすることを検討する。
- 4) 国際セミナー担当幹事より、昨年度と今年度の開催実績・予定について報告があった。
[資料 8-⑤]
- 5) 国際センター担当幹事より、土木学会国際情報センターへの情報提供の方法について検討するとの報告があった。[資料 8-⑥]
- 6) 国際センター担当幹事より、土木学会国際情報センターへの情報提供の方法について検討するとの報告があった。[資料 8-⑥]
- 7) 多々納幹事長より、全国大会研究討論会のテーマ「GLOCAL な視点で見直そう、土木分野における NPO 活動！」についての説明があった。

10. 強靱化検討委員会に関する資料作成協力について

強くしなやかな社会を実現するための防災・減災等に関する研究委員会（仮称）から、土木学会の既存の活動内容・技術と今後の活動内容について報告することが求められている。当日の配布資料に報告案が記載されているので、加筆・修正等があれば多々納幹事長まで連絡するよう依頼があった。

11. 委員長・副委員長の挨拶

谷口元委員長より退任の挨拶、桑原新委員長と久保田新副委員長より就任の挨拶があった。

その他

次回の計画学委員会は、11月2日（日曜日、大会2日目）の昼休み期間中に開催することとした。